男爵記念館農機類標本台帳

一般名称: 方形ツースハロー	現地の通称:

資料種別: ◉ 製品-実物 ○ 製品-レプリカ ○ 製品-模型 ○ 製品図面 ○ 写真等 ○ 図書掲載 ○ その他

資料種類:
- ☐ 人力用具 ☐ 手押式 ☒ 耕耘用 ☐ 調製用
- ☒ 畜力用具 ☐ 乗用式 ☐ 施肥播種 ☐ 施設類
- ☐ 原動機具 ☒ 牽引式 ☐ 管理用 ☐ 機素
- ☐ トラクタ具 ☐ 定置式 ☐ 収穫用 ☐ その他

管理プレートNo.

台帳No. D032

相手先番号等

統一分類記号

製作者・会社: 小室製造、函館市亀田町　　製造市・国名 北海道

製造年_購入年,標本収集年

使用目的・使用方法等

砕土整地作業用ツースハロー、　方形ハローは、最も広く普及し、1950年代まで使われた。
砕土整地作業は、プラウ耕後の土塊を破砕し、狭雑物(播種作業の障害除去)を掻き出し、表層を平坦に均す作業であり、播種時に種子が均一深さに播かれ、さらに土壌と密着して水分を吸収し、地温で温まって発芽を容易にすることに重点がある。土塊破砕は、ハローの歯杆によって押し潰す、切る、衝撃破壊するなどの作用で行われるが、唯1回の通過では仕上らないため、縦横方向に順路を取って圃場全体を平らに仕上げる。また、土嚢等を乗せて貫入深さを強くすることもある。

利用経過収集記録意義等

仕様書_解説等

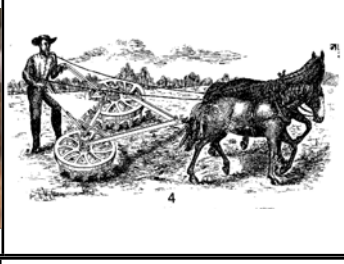
仕様未調査

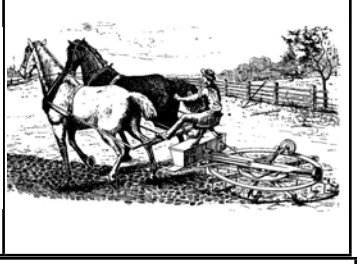
全体図　1-2：展示標本

関連図　1：方形ハローのメーカ印
2：自由回転ツースハロー
部品であり、全体構造不明
3：同上、1859年米国特許品
4：散播機、1878年米国特許品
条播を攪拌して散播とする

右に全体図

外観特色関連図等





資料の所在: 公開展示室

資料追記事項

資料管理経過

作業メモ追記文

関連図2の「自由回転ツースハロー」は、明らかに砕土用の部品であるが、それを装着する全体構造が不明。関連図3-4に特許公報の図を示すが、この事例の利用法でなく、恐らくトラクタプラウの後方に取り付けて耕起直後に極荒い砕土をしたと想像する。

農業機械学会北海道支部「農機DB作成委員会編